

患者さんへ

「下部消化管穿孔における経時血液検査データの 教師無しクラスタリングと予後の関連」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2013 年 4 月から 2024 年 8 月までに湘南鎌倉総合病院を受診し消化管穿孔と診断され、手術後集中治療室(Intensive care unit: ICU)に入室した/する患者さん
2 研究目的・方法	研究目的: 下部消化管穿孔において、患者の予後と関連する因子として、C-反応性たんぱく(C-reactive protein: CRP)や混濁腹水の有無が知られていますが、実際には CRP は肝機能に影響を受ける因子である等、少数の指標を用いた予後予測では多様な患者像を反映するには不十分です。そのため、以下の方法にて消化管穿孔における多因子を元にした高精度の予後予測手法の確立を目指します。 研究方法: 下部消化管穿孔の手術後に ICU 入室した/する方の経時的な血液検査データを用いて、次元圧縮、教師無しクラスタリングという機械学習の方法により予後との関連性を考察します。 研究の期間: 施設院長許可(2023 年 8 月予定)後～ 2024 年 12 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報: 年齢、性別、病歴、ICU 入室～退室までの血液検査データ等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 鎌口清満 湘南鎌倉総合病院 救急総合診療科・集中治療科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号: 0467-46-1717

2023 年 8 月 31 日作成(第 1.1 版)